

吉良氏800年祭を 2023年まで展開

鎌倉時代から戦国時代まで約340年間にわたり西尾を治めた吉良氏。2021年は吉良氏が西尾へ進出するきっかけとなった承久の乱から800年となる節目の年です。地域の文化遺産を活用し、文化振興と観光客の誘客を推進するため、「吉良氏800年祭」を今年4月から2023年3月まで展開します。

問 吉良氏800年祭実行委員会事務局（☎56・6660／岩瀬文庫・文化振興課内）

吉良氏800年祭の概要

かつて吉良荘と呼ばれた現在の西尾市の大部分の地域は、承久3（1221）年に起こった承久の乱の後、足利義氏の所領となりました。義氏の子孫は後に「吉良」を名乗り、室町幕府の将軍家・足利氏の一門として別格の扱いを受けました。吉良氏は菩提寺の実相寺（上町）や西尾城の前身・西条城を中心に西尾を本拠とし、子孫には江戸時代の元禄赤穂事件で知られる吉良上野介義央がいます。

2021年は承久の乱から800年に当たり、同時に西尾市が合併10周年を迎えることから、文化振興と観光客の誘客を推進し、市民の融和をさらに進めることを目的に「吉良



吉良満貞らの発願により貞治元(1362)年に造立された木造釈迦三尊像
(県指定文化財／実相寺蔵)

氏800年祭」の開催を計画。2015年に吉良公史跡保存会と西尾・岩村友好の会が中心となって準備委員会を設立しました。機運を高めるため、吉良氏に関わる講演会などを開催。今年の2月23日に実行委員会

が立ち上がりました。実行委員会では「吉良氏800年祭復古創新800年の心響(Kodomo)」と題した事業を計画し、2023年3月までさまざまな事業を実施します。

●事業計画

史実に基づく事業…中世吉良氏顕彰祭、吉良氏関連記念冊子の発行など6事業

誘客・市民参加事業…「神谷傳兵衛」の史跡ツアー、今川義元生誕500年歴史探訪ツアーなど9事業

連携事業…吉良氏800年祭フラッグ掲出、岩瀬文庫企画展や西尾市資料館との連携など8事業

新たな街づくり推進・連携事業…復古創新く城下町の新たな街づくり、エンジン01文化戦略会議（文化人による講演会）など3事業

記念講演会を開催

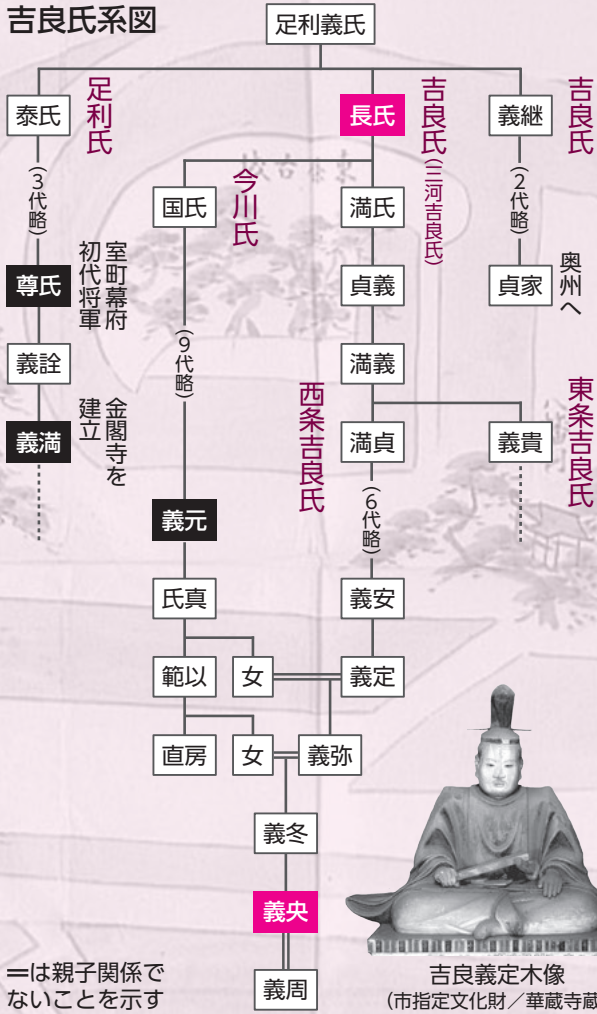
2月23日の実行委員会設立総会の終了後、「吉良氏と松平氏」をテーマに國學院大學講師で歴史学者の平野明夫氏による記念講演会が行われま



平野明夫氏の講演

した。会場には大勢の人が訪れ、婚姻関係を結ぶなど深い関係にあった吉良氏と松平氏についての分かりやすい解説に耳を傾けていました。

吉良氏系図



吉良義定木像 (市指定文化財/華蔵寺蔵)

足利将軍家の特別な一門

鎌倉幕府と朝廷が争った承久の乱は、幕府側の勝利に終わりました。幕府方として戦に貢献した足利義氏は、三河国の守護(国の治安を維持する役職)と吉良荘などの地頭(荘園の行政を行う役職)に任じられます。義氏の当初の後継者は長男といわれる長氏でしたが、『今川家譜』によれば、鎌倉幕府の執権・北条泰時の娘を母とする弟の泰氏が足利本宗家を継ぎ、母親の家柄の違いで庶子となつたとされています。

この経緯により、吉良氏は室町幕府の将軍家・足利氏の一門として、石橋氏、渋川氏と共に御一家(御三

家)として重きをなしました。中でも吉良氏はその筆頭として管領(幕府の執務を統括する役職)以上の高い資格を保持。分家の今川氏と共に「御所(将軍家)が絶えれば吉良が継ぎ、吉良が絶えれば今川が継ぐ」といわれたほどでした。しかし、永禄4(1561)年に三河統一を進める松平元康(後の徳川家康)に敗れ、永禄6(1563)年、7年に蜂起した際も再び松平氏に敗北し、没落しました。

吉良氏の再興と元禄赤穂事件

いったん没落した吉良氏でしたが、慶長5(1600)年の関ヶ原の戦い後、吉良義定が家康の家臣に取り立てられて再興を果たします。その後、義弥、義冬、義央と3代にわたって江戸幕府の要職である高家(典札を取り仕切る役職)を務めました。



黄金堤に建つ義央の銅像

元禄赤穂事件は後に「忠臣蔵」として国民的な演劇となり、創作の中で敵役にされた義央は汚名を着せられました。しかし、地元では水害を防ぐために黄金堤を築いたり、新田開発を進めたりするなど善政を敷いた名君として知られ、親しみの念から「吉良さん」と呼ばれて今もなお尊敬を集めています。

しかし、元禄14(1701)年に赤穂藩主・浅野内膳長矩が江戸城の大廊下で突然義央を斬りつける事件が発生。浅野は切腹、赤穂藩浅野氏は取りつぶしとなったことで、元禄15(1702)年に赤穂藩士が義央を殺害する元禄赤穂事件が起こりました。討ち入りを亡君への義挙とする世論に勝てず、幕府は隠居した義央に代わって当主になっていた義周を諏訪(現在の長野県諏訪市)に幽閉し、吉良家を取りつぶししました。3年後、失意の中で義周は病死。鎌倉時代以来の名家・三河吉良氏の嫡流はここで断絶しました。

吉良氏800年祭 今川義元生誕500年歴史探訪ツアー

吉良氏の分家である今川氏の歴代中、最大の勢力を誇った今川義元。今年は生誕500年に当たります。義元の命日の前日に、静岡県にある吉良氏や今川氏ゆかりの地を巡るツアーを開催します。

対 小学生以上の方

時 5月18日(土) 午前8時30分集合 午後6時帰着

集合場所 文化会館、横須賀公園

行き先/内容

- ・最林寺(藤枝市)…華蔵寺(吉良町)を開いた吉良義安の終焉の地で、住職から話を聞きます。

- ・臨濟寺(静岡市葵区)…今川氏の菩提寺を訪れます。非公開のため外観のみ参拝

- ・駿府城(静岡市葵区)…今川館跡を現地ガイドの解説を聞きながら見学します。

※昼食は静岡丸子名物とろろ汁を味わいます。

定 40人 (抽選/最少催行人数30人)

¥ 1人8,500円

申 3月31日(日)までに、直接または電話で市観光協会(☎65・2404/西尾コンベンションホール内)へ。